

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

国際感染症コース 募集要項

1) 応募資格	令和3年4月時点で、以下のすべての要件を満たしている方 ① 初期臨床研修および後期研修を修了しているか、修了見込みであること。または、それに相当する臨床経験を有すること(専門医資格など)。 ② 心身ともに健康であること。 ③ 留学可能な TOEFL や IELTS の点数を、採用日までに取得する意思があること。 ④ 海外での医療支援活動に参加する意欲があること。
2) 募集人員	若干名
3) 所属先	東京都保健医療公社豊島病院 感染症内科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	令和3年1月27日(水)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11) の申込先に郵送すること。 ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 志望動機書(A4 1枚) ⑤ 推薦状2通 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承ください。
10) 申込期限	令和3年1月4日(月)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	足立 拓也 (東京都保健医療公社豊島病院 感染症内科医長) (電話)03-5375-1234(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

国際感染症コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都保健医療公社 豊島病院	
連携して研修する病院・ 施設(予定)	(国内)都立駒込病院、多摩総合医療センター、公社荏原病院 (海外)リパブール熱帯医学大学院、世界保健機関、国境なき医師団など	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修および後期研修を修了しているか、修了見込みであること。または、それに相当する臨床経験を有すること(専門医資格など)。 ・心身ともに健康であること。 ・留学可能なTOEFLやIELTSの点数を、採用日までに取得する意欲があること。 ・海外での医療支援活動に参加する意欲があること。 	
コース 責任者	氏名(所属)	足立 拓也(東京都保健医療公社豊島病院 感染症内科医長)
	資格名	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本感染症学会認定感染症専門医・指導医・評議員
	専門分野	感染症診療、国際協力、人道支援
臨床指導体制	<p>診療: 感染症内科、または他の診療科で、急性疾患や重症患者の初期対応を含む日常診療を行う。 海外研修・派遣: 海外の教育機関の研修及び診療活動を行う。</p> <p>本コース責任者が指導医となり、1年ごとに達成度評価を行い、上級年次に進むにふさわしい十分な技量を有しているかどうかを判定する。臨床的な問題解決能力だけでなく、職業人としての規範も重視し、他職種からのフィードバック評価も参考にする。 海外研修や海外派遣の期間は、留学先や派遣先の指導体制による。</p>	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<p>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き 第1版(共著) 2020. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 シエラレオネにおけるエボラ出血熱対策(2014-2015) 世界保健機関 コンゴ民主共和国における黄熱対策(2016) 国際緊急援助隊事前調査団 バングラデシュ・ミャンマー国境の難民キャンプにおけるジフテリア対策(2017-2018) 世界保健機関 イエメンにおけるコレラおよびジフテリア対策(2019-2020) 世界保健機関 国境なき医師団日本との人材育成ワークショップ共催(2018)</p> <p>Evidence-based guidelines for supportive care of patients with Ebola virus disease(共同研究) Lancet 2018;391:700-708. New filovirus disease classification and nomenclature(共同研究) Nature Reviews Microbiology 2019;17:261-263.</p>
	今後行う 研究と 研究体制	海外で発生した人道危機において、切実に医療を求める人々に対して適切な医療を提供できる臨床医の育成 実際の現地派遣を通して、困難に直撃された人々の健康回復、および健全な社会の復興への貢献
研修項目	<p>感染症を切り口に、生まれてから老いてゆく人間の一生を通じた病態の理解を目標とし、すべての国籍・年代・性別・職業・生活背景、あらゆる事情を持った患者への対応ができるようになることを目指す。 より大きな視野で見たとき、当院の研修ですべての病原体をカバーできるわけではなく、感染症診療自体が国内で完結するものでもない。意欲と力量に応じて、海外のプログラムに挑戦し、国外の専門家と人脈をつくり、英語で(他の言語でもよい)仕事ができるスキルを習得することを奨励する。 優れたロールモデルに出会い、スケールは大きく、かつ細やかな配慮のできる職業人に育っていただけるよう、願っている。</p>	
研修内容・達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入院症例:3年間で計100例(市中感染症、感染症法疾患、検疫法疾患、HIV/AIDSなど) ・他科併診:3年間で計100例 ・外来担当:週1日、3年間で計100コマ ・初期研修医の指導:3年間で6名指導(グラム染色鏡検実習、培養結果の解釈演習) <ul style="list-style-type: none"> ・国内専門医資格の取得(総合内科専門医、感染症専門医など) ・海外専門医資格の取得(Diploma in Tropical Medicine and Hygieneなど) ・国際NGOへの登録、フィールド派遣(複数回が望ましい) ・論文:和文または英文論文1本 	
コース内容に関する 問合せ先	足立 拓也(東京都保健医療公社豊島病院 感染症内科医長) TEL:03-5375-1234(代表)	